

月刊

GPP



Vol.61

令和2年11月号

株式会社  
グロースパートナーズ

## ESG思考

あっという間に11月になり、今年も残り2ヶ月もない。

10月1日にリリースした一般社団法人 生コン・残コンソリューション技術研究会は、無事スムーズにスタートを切ることが出来た。既に50を超える皆さまのご加入がありセメント・生コンクリーを取り扱う皆様の持続可能な社会の構築に対する関心の高さを窺うことが出来る。

皆様もCSR(Company Social Responsibility)は以前より耳にされておられると思う。簡単に言えば“企業の社会貢献”であり、要すれば「企業活動における収益の一部を社会貢献として還元している」である。このCSRに替わって企業の経営姿勢を表現しているのが、ESG、Environment (環境) Social (社会) Governance (統治)であり、これらに重点を置いた投資手法をESG投資と呼んでいる。ESGは企業の貢献・献身 (=支出) を意味しているのではなく、企業活動としてESGを高めることがその企業自身の経営基盤を強化し、結果的に長期に発展するという考え方である。

金融投資の世界を見てもESG重視の姿勢は急速に進んでおり、欧州で50%、アメリカでは25%、スケールは劣るがオーストラリアでは60%を超えてきている。まだまだ社会貢献、即ち奉仕の精神であるCSR的な考えが主流である日本においては、ここ2~3年の伸びは急速なるもいまだに20%弱となっている。

ここに来て、日本生命が「2021年4月より全ての投資対象をESG重視にシフトする」大々的にリリースし、大きな話題を呼んでいる。日本生命と言えば総投資額70兆円で「東証の3%を握っている」と言われる、金融界の巨人。ESGが経済界に浸透する大きなきっかけとなるはずだ。

RRCSの活動はまさにESGのだ真ん中である。持続可能な社会構築の為の活動をしている。日進月歩で進む世界の技術、しかも環境に配慮した資材をいち早く日本に紹介し且つ流通のアドバイスをしていくこと、そして現場で必ず発生する余剰生コン、“残コン・戻りコン”の規格・標準を策定して再利用を促進することが、RRCSの活動である。

是非、皆様もESG思考で参りましょう。

藤井 成厚

## セルドロン残コン用途で採用されました

今回の現場では、柱に生コン打込んだ後に発生する少量の生コンに混合する用途で採用頂きました。

生コンをポンプ打設をしているため、柱のレベルより多少多くなってしまふことがあり、余る生コンが発生します。現場の方も、こんなん(セルドロン)で生コンがパラパラになるのかと半信半疑だったようですが、想像以上に処理が簡単で喜んでいただきました。

### ○従来の工法(固めて翌日砕く)と比べて良かった点

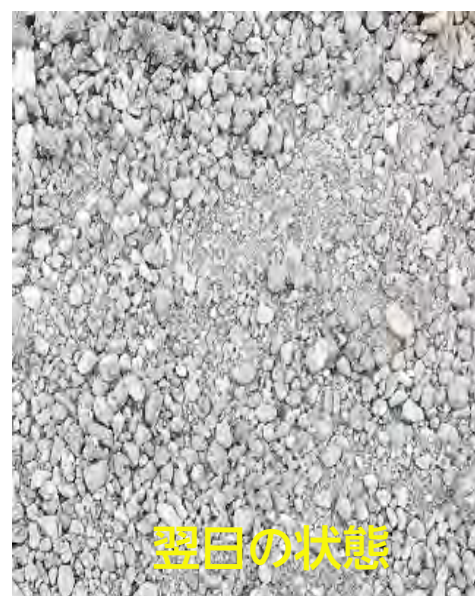
- ・時間短縮(砕く作業の方が時間がかかる)
- ・すぐに扱いやすい状態になる
- ・翌日も大きな固まりになっていない



柱の残コン



柱の残コン



翌日の状態

うれしいことに生コン打設がまだ続くため、追加発注もいただきました。

### ため池の堆積土処理案件募集!!

ため池の堆積土をセルドロンで改質し、再利用できそうな現場ありませんか。ため池のある場所は、自然が多くセメント改良などが不向きの場合が多いです。セルドロンのような自然由来の物で性状を改質してみたい方おりませんか。ご活用いただける場合は、セルドロンを**特別価格**にてご提供させていただきます。

### 本社移転のお知らせ

2020年12月1日に  
下記住所へ移転いたします

新住所  
〒107-0052  
東京都港区赤坂6-10-42  
パシフィックパレス赤坂401  
TEL: 03-4405-2642  
FAX: 03-6369-3805

※電話番号やFAX番号に変更はありません。